

# 日本水産増殖学会第18回大会・ 令和元年度日本水産学会近畿支部例会プログラム

主催: 日本水産増殖学会・公益財団法人日本水産学会近畿支部

日時: 令和元年 11 月 23 日(土) 10:00~17:00

会場: 近畿大学農学部(〒631-8505 奈良県奈良市中町 3327-204)

受付: 9:30~

参加費: 無料

幹事会: 11:35~12:20 (幹事会室)

## 【シンポジウム】 水産業における持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた課題と展望

10:05-10:50 「持続可能な循環型地域社会を考える～「アマモトカキの里海(岡山県日生町)」から～」

田中丈裕 氏(NPO 法人里海づくり研究会議・業務執行理事)

10:50-11:35 「養殖業における持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた課題～飼料を中心に～」

深田陽久 氏(高知大学農林海洋科学部・准教授)

昼食 農学部食堂利用可

13:00-13:45 「水産認証制度の現状と課題」

阪口功 氏(学習院大学法学部・教授)

## 【ポスター発表】 14:00-15:00

P-1 飼料へのヒスチジン添加がブリ稚魚の飼育成績と組織の遊離アミノ酸組成に及ぼす影響

○山本剛史・松成宏之・奥 宏海・村下幸司・吉永葉月・古板博文(水産機構増養殖研)

P-2 植物性原料主体の飼料によるニジマスの餌付け

○山本剛史<sup>1</sup>・松成宏之<sup>1</sup>・古板博文<sup>1</sup>・三浦正之<sup>2</sup>・小澤 諒<sup>2</sup>・岡崎 巧<sup>2</sup>・村下幸司<sup>1</sup>・奥  
宏海<sup>1</sup>・吉永葉月<sup>1</sup>(<sup>1</sup>水産機構増養殖研,<sup>2</sup>山梨水技セ忍野)

P-3 二枚貝浮遊幼生の着底・変態の神経メカニズム

長田知大<sup>1</sup>・加藤元一<sup>2</sup>・内木敏人<sup>2</sup>・寺井しま<sup>2</sup>・長澤一衛<sup>1</sup>・尾定 誠<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北大院・農,<sup>2</sup>ヤンマー(株)マリンファーム)

P-4 アユにおける放流後の血液性状変化

○中嶋正道<sup>1</sup>・丹明信<sup>2</sup>・寺本航<sup>3</sup>・早乙女忠弘<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東北大院農,<sup>2</sup>福島内漁連,<sup>3</sup>福島内水  
試)

P-5 魚類の弁別学習研究への自発摂餌式給餌法の応用

森本有翔・○神原 淳(三重大院生物資源)

PS-1 分子マーカーを用いた琵琶湖におけるブルーギルの遺伝的集団構造の把握

○高山久弥<sup>1</sup>・佐野菜採<sup>1</sup>・河村功一<sup>1</sup>・岡本裕之<sup>2</sup>・栗田 潤<sup>2</sup>・奥 宏海<sup>2</sup>・藤原篤志<sup>3</sup>(<sup>1</sup>三重大  
院生資,<sup>2</sup>増養殖研,<sup>3</sup>中央水研)

PS-2 広島県の河口域における イシガレイとマコガレイの成長

○櫻井玄人・富山 毅(広大院生物圏科)

PS-3 豊後水道におけるサバ類の出現様式

○後藤直登<sup>1</sup>・橋田大輔<sup>2</sup>・中尾拓貴<sup>3</sup>・富山 毅<sup>1</sup>(<sup>1</sup>広大院生物圏科,<sup>2</sup>愛媛県南予地方局  
水産課,<sup>3</sup>大分水研)

- PS-4 サワラ稚魚の摂食と成長に及ぼす水温の影響  
 ○原田海斗・出口 航(広大)・森田哲男(水産機構瀬水研屋島)・山本昌幸(香川水試)・藤田智也(海づくり協会)・富山 毅(広大)
- PS-5 阪南4区沖浚渫窪地およびその周辺海域における貧酸素水塊の発生について  
 ○秋山 諭・横松宏幸・中嶋昌紀(大阪環農水研)
- PS-6 ニホンウナギ稚魚と数種葉菜類とのアクアポニックスの検討  
 ○渡邊れい子・石橋泰典(近大院農)
- PS-7 カンパチ卵および仔魚の生残率等に及ぼす飼育水のポンプ循環流量および通気量の影響  
 ○石川智将・藤井健太・池田大起・石橋泰典(近大農)
- PS-8 クロマグロ仔魚の視物質オプシン遺伝子の発現と各種行動との関係  
 ○宇城雄登・石橋泰典(近大院農)
- PS-9 クロマグロ仔魚の単色光照射が飼育成績に及ぼす影響  
 ○宇城雄登・石橋泰典(近大院農)

\*PS は学生・若手研究者による表彰対象ポスターです。

**【高校生発表】 14:00-15:00**

- PH-1 ホンモロコの黒酢粕添加飼料給餌 (京都府立海洋高等学校)
- PH-2 テナガエビの障害物実験 (京都府立海洋高等学校)
- PH-3 テナガエビの色彩実験 (京都府立海洋高等学校)
- PH-4 イワガキの天然採苗 (京都府立海洋高等学校)
- PH-5 二枚貝の水質浄化実験 (京都府立海洋高等学校)
- PH-6 マナマコ水槽の可視化実験 (京都府立海洋高等学校)
- PH-7 若狭湾産魚類のマイクロプラスチック取り込み状況 (京都府立海洋高等学校)
- PH-8 京都府における低利用水産資源の有効活用 (京都府立海洋高等学校)

\*高校生のポスター発表は表彰対象です。

**【研究発表】会場1 15:00-16:45**

- 15:00-15:15 異なる収容サイズと密度で中間育成したリシケタイラギ稚貝の生残率と成長率  
 ○山本昌幸<sup>1</sup>・伊藤 篤<sup>2</sup>・山崎英樹<sup>2</sup>・兼松正衛<sup>2</sup>(<sup>1</sup>香川水試, <sup>2</sup>水産機構瀬戸水研)
- 15:15-15:30 覆砂区に移植したヤマトシジミの成長と生残  
 ○中里享史<sup>1</sup>・長尾 渉<sup>2</sup>・田中 浩<sup>2</sup>(<sup>1</sup>道栽培公社, <sup>2</sup>北るもい漁協)
- 15:30-15:45 アコヤガイ真珠袋の殻体基質タンパク質遺伝子発現への低塩分養生の影響  
 ○佐野菜採<sup>1</sup>・田中真二<sup>2</sup>・栗山 功<sup>2</sup>・古丸 明<sup>1</sup>(<sup>1</sup>三重大院生資, <sup>2</sup>三重水研)
- 15:45-16:00 免疫刺激因子に対するマガキ血球タンパク質変化の網羅的解析  
 ○高橋計介・長谷川拓哉・石井啓文・圓谷佑介(東北大院農)
- 16:00-16:15 *Vibrio proteolyticus* 442株のプロバイオティクスとしての可能性  
 ○杉田治男<sup>1</sup>・岩楯智之<sup>1</sup>・笠川宏子<sup>1</sup>・大塚知世子<sup>1</sup>・茂林裕右<sup>1</sup>・大山直輝<sup>1</sup>・秋山信彦<sup>2</sup>・糸井史朗<sup>1</sup>(<sup>1</sup>日大生物資源, <sup>2</sup>東海大海洋)

- 16:15-16:30 大阪府におけるフリー配偶体によるワカメ種苗生産Ⅱ  
○佐野雅基(大阪環農水研)
- 16:30-16:45 小河川におけるニホンウナギの稚魚の成長と移動  
鈴木邦弘<sup>1</sup>・松山 創<sup>1</sup>・木南竜平<sup>1</sup>・川合範明<sup>1</sup>・佐藤孝幸<sup>1</sup>・鈴木基生<sup>1</sup>・平井一行<sup>1</sup>・増元英人<sup>1</sup>・渡邊 俊<sup>2</sup>・塚本勝巳<sup>3</sup>(<sup>1</sup>静岡水技,<sup>2</sup>近大農,<sup>3</sup>東大院農)

**【研究発表】会場2 15:00-16:45 (学生・若手研究者による表彰対象口頭発表)**

- 15:00-15:15 海洋性微細藻類由来有機物が原核生物群集に与える影響に関する研究  
○武部紘明<sup>1</sup>・富永賢人<sup>1</sup>・山本圭吾<sup>2</sup>・渡邊哲弘<sup>1</sup>・吉田天士<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京大院農,<sup>2</sup>大阪環農水研)
- 15:15-15:30 海底堆積物を用いた集積培養系における一酸化炭素酸化菌の動態解析  
○野澤理香<sup>1</sup>・福山宥斗<sup>1</sup>・西田志穂<sup>1</sup>・奥西将之<sup>2</sup>・前田広人<sup>2</sup>・吉田天士<sup>1</sup>・左子芳彦<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京大院農・<sup>2</sup>鹿大水)
- 15:30-15:45 アオコ原因ラン藻 *Microcystis aeruginosa* のウイルス感染細胞直接定量法の確立  
○中川 哲・森本大地・左子芳彦・吉田天士(京大院農)
- 15:45-16:00 マサバの自発摂餌と残餌回収装置を用いた摂餌量推定  
○高橋秀周・富永 修(福井県大、海洋生物資源)
- 16:00-16:15 新奇海産モデル魚カタクチイワシを利用した不妊化-妊性回復技術の開発  
○甲斐公士<sup>1</sup>・坂口圭史<sup>2</sup>・太田耕平<sup>3</sup>・松山倫也<sup>3</sup>(<sup>1</sup>九大院生資環,<sup>2</sup>九大院農唐津水研セ,<sup>3</sup>九大院農)
- 16:15-16:30 クロマグロ生殖細胞特異抗体を用いた サバ宿主精液中のクロマグロ精子検出法の開発  
○神尾茂治・川村 亘・矢澤良輔・吉崎悟朗(海洋大)
- 16:30-16:45 アミメノゴリガザミ稚ガニの鉗脚指節切除による共食い防止の試み  
○三田哲也・清水智仁・小磯雅彦(水産機構西海水研)・浜崎活幸(海洋大)

**【表彰式】**

17:00 優秀発表者への賞授与・閉会

**【懇親会】**

18:00~20:00 農学部食堂(会費:一般 4,000 円, 学生 2,000 円を予定)

**アクセス:**近鉄富雄駅西口を出て、富雄川沿いを南に歩き、「新富雄橋」を渡り、「近畿大学バス乗場」で奈良交通バス乗車、キャンパスまで約 10 分です。バスの本数に限りがありますので、必ずバスダイヤをご確認下さい。



近畿大学農学部アクセス

学会開催日バスダイヤ

